

ごみ・リサイクルミニ集会 実施報告書

【日 時】 令和5年 12月9日(土) 08:30~09:00

【場 所】 成恒集会場

【団体名】 成恒老人クラブ

【参加数】 16名

【説明者】 川 野

成恒老人クラブ様向け ごみ・リサイクルミニ集会の実施



12月9日(土)「成恒老人クラブ」の方々(16名)を対象に、「成恒集会場」において、資源回収の後、ごみ・リサイクルミニ集会を開催しました。

●集会では、以下のような内容を説明しました。

1. 中津市のごみ事情・課題
2. ごみ減量・資源化に向けて
3. 「ごみ分別」のお願い
4. 生ごみ処理機なかつキエーロの紹介

●集會中、特に下記について説明を行いました。

- ・令和2年度以降、ごみ分別と資源化について、ペットボトル(R2、8月)、容器包装プラスチック(R3、7月)の分別回収が始まり、令和4年9月からは、ごみ袋有料化制度施行等、市民の皆さんのご理解・ご協力あってごみの排出量の削減、リサイクル率の向上が進んでいること。

○ごみの排出量 (R2) 30,943 t ⇒ (R3) 28,984 t ⇒ (R4) 28,092 t

○リサイクル率 (R2) 21.2% ⇒ (R3) 25.1% ⇒ (R4) 26.2%

- ・しかしながら、令和5年6月のごみの組成分析調査では、燃えるごみの中にリサイクル可能な資源(プラスチック、紙など)が30%ほど含まれているため、分別の徹底がさらに必要なこと。
- ・また、同調査で燃えるごみの40%が「生ごみ」であることから、これらの減量には、なかつキエーロやコンポストなどを活用した自家処理や排出の際の水切りを徹底するのが効果的であること。

●資源回収の後でしたが、皆さんに熱心に話を聞いていただき、現在のゴミ事情と今後取り組みにも関心が高いことが伺えました。